

(様式第2号)

申請年月日

5年2月28日

北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会
会長 上田 裕文 殿

申請する活動組織名、代表者名記載

活動組織名 ○○の森を守る会
代表者名 代表 山林 森男

5年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る採択申請書

森林・山村多面的機能発揮対策実施要領（平成
（1）に基づき、下記のとおり森林・山村多面的

3、4年度採択の活動組織は、採
択番号を記載し、5年度から新規
申請の活動組織は、「新規」を記載。

（通知）別紙3の第5の4

1. 活動組織名（採択番号）

活動対象の森林所在市町村名の林小班、市町村名地番を記載。

採択番号

新規

2. 協定の対象となる森林の位置

札幌市民有林 1林班2小班、2林班4小班
札幌市字□○123番地、□▽155番地、▽□190番地

活動組織の事務所所在地、事務担当者名、連絡可能な
電話番号、メールアドレス等は必ず記載。

北海道、市町村の助成額は、市
町村の判断により助成するもの
で、金額は目安。

3. 担当者名・電話番号（連絡がとれる担当者及び電話番号、Fax、E-mail等を記

所在	〒231-4567 ○○市●●町234番地1			担当者	森林 山造
連絡先	電話 0123-45-6789	Fax 0123-45-6789	e-mail 1234-789@l.tokyo.or.jp		

4. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金

取組メニュー	交付単価等	森林面積等	国交付金額	北海道の補助額	市町村の負担額の目安	計
活動推進費	11.25万円	初年度のみ	112,500円	18,750円	18,750円	150,000円
地域環境保全タイプ (里山林保全)	120,000円/ha	1.8ha	216,000円	36,000円	36,000円	288,000円
森林資源利用タイプ	120,000円/ha	2.7ha	324,000円	54,000円	54,000円	432,000円
森林機能強化タイプ	80,000円/m	200m	160,000円	26,666円	26,666円	213,332円
関係人口創出・維持タイプ	66,666円/年	1回	66,666円	8,333円	8,333円	66,666円
			862,500円	143,749円	143,749円	1,149,998円
			0円	-	-	0円
資機材・施設の整備等	1/3以内					0円
資機材・施設の整備等 (関係人口創出・維持タイプで使用する移動式の簡易なトイレの賃借料)	賃借料の1/3以内	10,000円	3,300円	-	-	3,300円
計		0	865,800円	143,749円	143,749円	1,153,298円
間伐等（除伐、枝打ちを含む。）の実施面積		2.7ha				
当該年度に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる里山林を整備する面積		2.7ha				

初年度は、12万円、2年目は115
千円、3年目は11万円を選択する。

様式2号(別紙)活動面積を入力。

(注1) 面積は0.1ha、延長はm単位で記入。

(注2) 当該年度に長期にわたり手入れをしなかったと考えられる里山林を整備する面積は、活動期間内の前年度までに該当する里山林の整備を実施した場合は、その森林の面積を除外し、当該年度に新たに里山林の整備を実施する面積を記載すること。

(注3) 北海道の補助額、市町村の負担額の目安は、現時点で交付を約束するものではありません。

(注4) 地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプの交付単価については、活動計画の経過年度によって異なるので留意すること。

5. 事業費（活動推進費＋各タイプ計＋資器材・施設の整備（購入額））
 活動推進費 112,500 円 + 各タイプ計 750,000 円 + 資器材・施設の整備 3,300 円 = 865,800 円

6. 月別スケジュール

取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 活動推進費	→	→ モニタリング調査箇所選定及び調査							→ モニタリング結果調査			
		活動森林の現況調査										
2. 実践活動												
A 地域環境保全タイプ (里山林保全)		→ 必須の安全研修会を実施(必ず構成員全員が受講)										
		→ 歩道・作業道の 要領で対象になる申請内容を記載。(例: 雑草木の刈払・集積・処 作設・改修 理、風倒木・枯損木の除去・集積・処理等、)										
B 森林資源利用タイプ		→ 要領で対象になる申請内容を記載。(例:) 木質 バイオマス・炭焼き・しいたけ原木。伝統工芸品 原料のための未利用資源の伐採・搬出・加工 等、							→ モニタリング結果調査			
C 森林機能強化タイプ		→ 作業道の作設・改修										
D 関係人口創出・維持タイプ		→ 地域外関係者事前打ち合わせ					→ 地域外関係者との活動及び意見交換					
			→ 受入れ準備		→ 簡易トイレ設置							
3. 資器材・施設の整備 等												

7. 安全講習等の名称及び内容

講習の名称	講習の内容	実施月
安全研修会の開催	刈払い機及びチェーンソー研修の開催(座学及び実技)	4月
		月
		月

(注) 安全講習等は、対象森林内で実施するものを記載すること。

8. 関係人口創出・維持タイプの相手先及び活動内容

【地域外関係者の相手先名】
【活動内容】

注: 地域外関係者との現地確認や活動内容の調整を必ず行うこと。(助成対象は10名以上)

<施行注意>

作業安全のための規範（個別規範：林業）事業者向けチェックシート、活動計画書、協定及び活動組織の運営に関する規約等を添付するものとする。